

全国災対連・石川災対連合同ニュース

能登半島地震支援 「全国災対連・石川災対連」現地事務所
〒925-0026 石川県羽咋市石野町ト13-1
TEL 080-8889-3402 Mail: z-shinsai@zenroren.gr.jp

2024年7月2日

No. 4

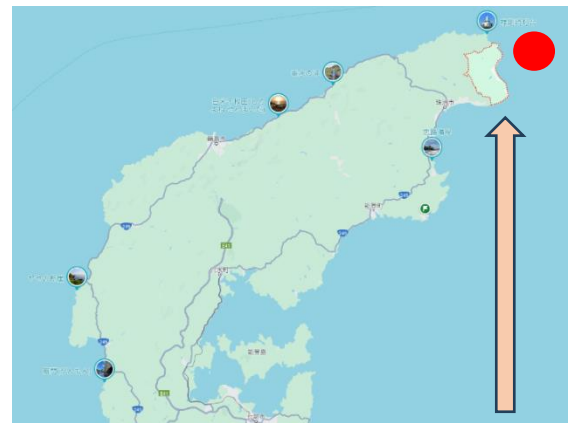
第5次震災ボランティア活動

支援活動に加え、被災者との懇談も

全労連「第5次ボランティア」は6月28日から30日の3日間、羽咋市の共同支援センターを拠点に行われました。今回の活動には、全国から24名と石川県労連から9名の33名が参加しました。

初日の28日は、2件(珠洲市と七尾市)の支援を行う予定でしたが、急きょ七尾市の支援活動が中止となったため、当日の参加者18名が4台の車に分乗して珠洲市三崎に向かいました。

地図のとおり、能登半島の東端にある地区で、羽咋市のセンターから150分程度かかりました。



元建交労の組合員のご自宅は、被災により、公費解体されることとなり、立て替えされる予定です。参加したボランティアにより、使える家財を納屋に移動させ、いつでも解体できるようにしました。



被災者は夫婦2人で住んでおられますが、地震発生時、高校生の孫が帰省していたそうです。地震発生後、3人で避難所に行っていたそうですが、地震の三日後に孫がかわいそうで、19時間かけて金沢の親元まで送り届けたそうです。

珠洲市三崎地区も住宅被害が大きく、今後も住み続けるのは3軒ほどになりそうだとさみしがっておられました。すでに仮設住宅に入居したそうですが、引き続き、支援を行っていくことなので、気軽に連絡してほしいと石川県災対連の長曾事務局長が声をかけていました。

支援行動終了後、地震によって姿を変えた見附島を見学しました。左写真は、^{みつげしま}珠洲市のHPにある被災前の見附島です。(見た目から軍艦島の別名も) 珠洲市は道路状況も悪く、復興に時間がかかりそうです。



◆3カ所に分かれて活動

29日は、31名のボランティアが参加し、3カ所に分かれて活動を行いました。

輪島市の支援活動は、地域医療を支えるために奮闘している輪島診療所の医師が居住するための住宅の片付けです。石川県災対連の長曾事務局長を先頭に13名が参加しました。

また、支援活動が思ったよりも短時間で終了したことから、輪島市の朝市どおりの状況把握なども行いました。



能登町柳田地区の支援活動には、自治労連の参加者9名で支援活動を行いました。

家財の運び出し作業を中心に行いましたが、被災者自身による片付けも進んでおり、支援活動は短時間で終了しました。

能登町鶴川地区の支援活動は、全労連の秋山副議長を先頭にダイハツディーゼル労働組合のみなさんのほか11名で行いました。被災者の橋本さんは、医労連の書記長をされていたそうで、今は年金者組合の組合員として、20名の拡大を行ったそうです。

この地区も建物被害が大きく、両隣は全壊とのことです。一部損壊であることから、建物の一部を取り壊し、残りの部分で居住が可能だといわれています。

支援活動を開始する前、軽トラック1台で運べる程度の荷物と伺っていましたが、いざ運び出すとあっという間にトラックがいっぱいとなりました。運び出すなどで時間もかかり、処分場への運び入れは翌日へと持ち越しとなりました。30日は全労連の秋山副議長を先頭に自治労連の合計6名で雨の降る中、作業を行いました。結局、軽トラックは2日間で4往復しました。



◆被災者の話を聞く

30日は、被災者の話を聞く会を能登町にある「イカの駅 つくモール」で行いました。話をしてくれたのは、大阪で国公労連の組合員でもあった田端義機さんです。田端さんは、次のように語ってくれました。



「自宅のリビングで親戚 8 名が集まり、楽しくくつろいでいた矢先の出来事でした。」「幸い我が家は、住むには大丈夫でした」「我が家から 5 キロしか離れていない白丸という海岸線の地域では、二つの部落が津波や火事にも見舞われて壊滅状態となりました」「傷ついた道路、全壊した家屋が放置されたままの“変わらない景色”が広がっています」

「全国から多くのボランティアの方々を始めと

した支援活動には感謝の気持ちで一杯です」「阪神や東北大震災では車や人が行きかき復興に向けて活気に満ち溢れていた。しかし、能登半島は本当に静かだ。まるで能登半島の付け根から切り離されたみたい」「ひとつ救いだっただのは大きな痛手を受けた珠洲市に原発が無かったこと。今回の震源地のすぐ側が原発の立地予定地だったと聞き、もしそこに原発があれば、被害の大きさは計り知れないものになったはず。この地震大国日本に原発は要らないと強く思う」「“星空がとっても近く、綺麗に見えるんです”と、つい最近神奈川の相模原市から能登町に移り住み、共に仮置場で働く彼が言った言葉です」「この故郷の大地、大自然の魅力を必ずや後世に残していきたい。一步ずつ願いを込めて・・・」



◆6月28日 出発式◆



◆6月29日 出発式◆



◆6月30日 解散式◆

被災者支援へ 災害募金に協力をお願いします！

<振込先> 名義:全国労働組合総連合
<入金先> 郵便振込 00170—3—426272
ゆうちょ銀行 019店 (当)0426272

※通信欄には、必ず「能登地震支援募金」と明記してください。

全国災対連より呼びかけます！

被災者支援へ 支援募金に協力をお願いします！

- ゆうちょ銀行
- 口座番号 00160—4—174418
- 名義 災害被災者支援全国連絡会

※ 通信欄には、必ず「能登半島地震支援募金」と明記してください。